



「尚徳」11月号 第578号 令和2年11月27日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<https://sho.fuzoku.tottori-u.ac.jp/>



題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)

予測が難しい時代を生きるために

副校長 志和俊哉

新型コロナウイルスの第3波が到来しているというニュースが連日報じられています。振り返ってみると、中国の武漢で原因不明の肺炎が確認されたと報道されたのは、今年の12月ことでした。今年の今頃は、ワールドカップでのラグビーの盛り上がりに浸っていました。また、消費税が10%となり、何が軽減税率の対象になるのかという話題でも盛り上がっていました。新型コロナウイルスについてほとんど誰も知らなかったのです。1年も経たないうちに、世界の状況が変わり、我々の日常生活も多大な影響を受けています。誰が今の状況を予想したでしょうか。

さて、本校では、GIGAスクール構想のWi-Fiやタブレット保管庫の電源設備等の工事が進み、12月中に保管庫が設置されます。そして、もうすぐ児童一人に一台のタブレットが配備される予定です。配備されると授業展開も変わっていきます。例えば、今年度から使用している教科書にQRコードが掲載されているものがあります。算数では、それを各自のタブレットで読み込むと、いろいろな問題が出てきます。児童一人一人が自分にあった問題を選択し、学習を広げたり深めたりすることができるようになっていきます。また、理科では、自分で写真を撮り、それらを編集することにより、季節の変化や太陽の高さの変化などを明確にすることができます。そして、そこから新たな課題を設定し、発展的な学習に取り組むこともできます。総合的な学習では、自分でテーマを決め、調べ考察し、自分のタブレットを使ってプレゼンを行うという授業も考えられます。これらは一例にすぎず、活用方法は多岐にわたります。

来年の今頃は、どのような日常生活になっているか予測が難しいです。こんな時代だからこそ、「アクティブ・ラーニング」が重要となると考えます。アクティブ・ラーニングとは、「学びの量とともに、質や深まりが重要であり、子供たちが『どのように学ぶか』についても光を当てる必要があるとの認識のもと、『課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び』と、文部科学省は説明しています。そして、「子供たちが『何を知っているか』だけではなく、『知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか』ということであり、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等など情意・態度等に関わるものの全てを、いかに総合的に育んでいくか」に意義がある、とも述べています。つまり、生きる力と学ぶ力を育む教育がたいへん重要となるとということです。

コロナウイルスに翻弄された今年も残り1か月となりました。日常生活も学校教育も変革期の真っ只中にあります。子供たちが自分の目標に向かって一步一步確実に前に進めるよう、保護者の皆さんの協力を得ながら、頑張っていきます。今後ともよろしくお祈りいたします。

12月の行事予定

1日(火)【B週】 2年「キャリアに拓く」地域学部 6年「キャリアに拓く」工学部	14日(月)【B週】 臨時休業日(選考業務)
2日(水) 2年「キャリアに拓く」地域学部 1-1 給食試食会・学級懇談会 委員会⑥	15日(火) 研究日
3日(木) 1-2 給食試食会・学級懇談会	16日(水) わくわくタイム 職員会議
4日(金) 保護者立入りお断り(～15日まで)	17日(木) 6年卒業写真撮影
7日(月)【A週】	21日(月) 研究日
10日(木) 弁当の日 3校時学習 弁当後下校 集金引落日	23日(水) 冬休み前全校集会
11日(金) 臨時休業日(選考試験)	24日(木) 冬季休業日開始 (～1月6日まで)
	12月29日(火)から1月3日(日)の期間は、年末・年始のため閉庁となります。

感染症対応等で予定が変更されることがあります。ご了承ください。



学校の様子・子供の様子

*** 教育実習（基礎・副免） ***

5日(木)から18日(水)までの2週間、教育実習がありました。春の新型コロナウイルス感染症流行のため延期をしていたため、今回の実習は大学3年生の基礎実習と大学4年生の副免実習でした。

基礎実習では学生にとって初めての実習となるため、授業実践に関わるだけでなく、子供たちへの接し方や学校の1日の流れ等を学びました。副免実習では、他校種(幼稚園や中学校等)の実習を経験した学生ですが、年齢の違う小学生への指導の仕方を学びました。

子供たちは、普段の担任の先生と同じように、実習の先生に学習指導や生活指導をしてもらったり、いっしょに活動(遊び)をしたりしました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年2回の実習期間となりました。



*** 「キャリアに拓く」 ***

11月になり、各学年で本校の特徴のある取組の一つ「キャリアに拓く」の活動が盛んに行われるようになってきました。“大学附属”の小学校という強みを生かして、各部局に出かけて、鳥取大学の新しい発見や大学で働いておられる職員の方の思いや願いに触れて、自分のこれからの目標や生き方を考えるきっかけづくりの活動を目指しています。

今月、3年生は湖山池に関係することについて、湖山池情報プラザの職員さんと農学部の小玉先生(現附属中学校校長)の話を聞きました。

4年生は乾燥地研究センターに行き、展示や実験を通して、砂漠化について学びました。

5年生は米子の医学部で医療に関わる職員の方や医療機器の開発に関わる先生の思いを聞き取りました。



*** 6年「旅の学校」 ***

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、例年4月に行われている6年生の「旅の学校」を延期していましたが、どのような対策を考えると実施できるのかを探り、準備を進めてきて、11日(水)から13日(金)の2泊3日の広島・姫路方面の修学旅行を実現することができました。

今回の「旅の学校」実施のポイントは、

- 学校行事を停滞させない
- 各活動場所の感染防止対策(3密の回避、手指消毒等)
- 交通機関の変更(全行程バス利用)
- 他団体と同泊にならない宿泊先の利用 ます。

上記のような対応や対策を行いました。何より自分自身の感染予防に対する言動について指導してきました。マスクの着用や大きな声で話すことなどを人に指摘されてから直すのではなく、自分で気が付いて、自分の言動を自分で管理できるということです。これは感染症に関係することだけでなく、全ての生活において言えることだと考えます。

このような状況の中、しっかりと行動できるからこそ、新しい生活様式を踏まえた、新しい形式の行事に取り組めることができると思います。

「旅の学校」の写真で、様子をご覧ください。



*** 学校環境整備 ***

14日(土)に懇話会執行部、生活部、おやじの会(仮称)、卓球部、バレーボール部の皆様にお世話になって学校敷地と周辺の環境整備を行いました。

校庭のでこぼこの整地や側溝の土あげ、剪定した枝の回収等をしていただきました。

子供たちの安全に関わること、保護者の来校に関わることでの作業にお力をお貸しいただきありがとうございました。

